



広報

かつやま

Katsuyama City Newsletter

4月号

No.558

平成14年4月11日発行



(旧花月楼 したれ桜)

CONTENTS

予算特集

機構改革

Hot・話題

出会い ふれあい

個性ある地域発展へ

勝山市は平成14年度一般会計を前年度比2.9%増の119億2540万4千円とし、国における平成14年度地方財政計画の伸び率(△1.9%)を上回る積極型予算を編成しました。これは市民ニーズに応えるべく新たな施策等を盛り込んだことによるもので、特別会計と上水道事業の企業会計を含めた全体の予算規模でも、230億6973万5千円と前年度比5.7%の増になりました。

新年度は、「個性ある地域の発展」をコンセプト(基本的な考え方)に、ふるさと勝山の『復興』、『創生』、『活性化』をめざす『ふるさとルネッサンス事業』を基軸とした、エコミュージアム構想の推進に重点を置いています。

歳入

長引く不況により市税の増収は見込めず、国からの利子割交付金や普通交付税も減収となることから、財政調整基金を前年度より4億7千万円多い5億9900万円計上しました。

また、前年度に引き続いて基準財政需要額の一部を臨時財政対策債に振り返る措置が講じられることから、臨時財政対策債を前年度の約2倍の3億3740万円計上しています。市債全体では、前年度より5130万円多くなっています。臨時財政対策債の増額分を除けば減額となっています。これは、市債の発行額を極力抑制し、後年度の財政負担の軽減と、財政の健全性と柔軟性をめざしたものです。

歳出

歳出では、厳しい財政状況を考慮して、経常的物件費については前年度に引き続いてゼロシーリングとしたほ

予算総額

230億6,973万5千円

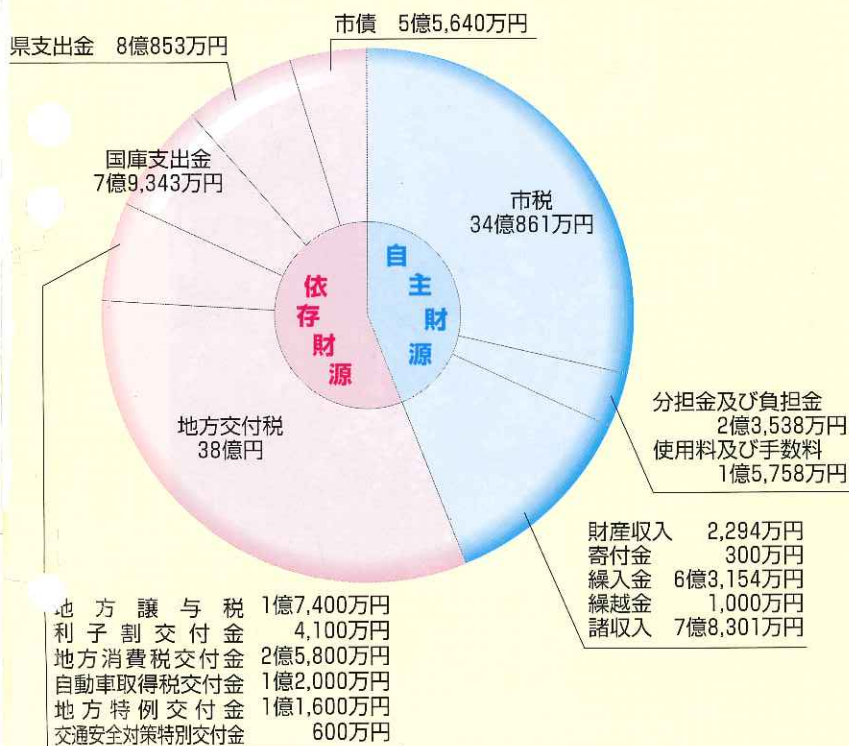
平成14年度予算 前年度比増減(%)

一般会計	119億2,540万円	2.9
特別会計	106億296万円	9.6
企業会計	5億4,137万円	-5.9
合計	230億6,974万円	5.7

市民ニーズ反映し

5.7%増

歳入



復興・創生・活性化

めざす

か、今年度においても特別報酬の改定見送りや、管理職手当の10%削減、市長交際費などの削減を行いました。

性質別にみると、義務的経費では扶助費と公債費でやや増えています。が、人件費の減額により全体では前年度とほぼ横ばいになっています。

投資的経費は10.5%増えています。が、これは市民生活の安全と安心確保のための除雪機械と消防ポンプ自動車の購入、さらには余暇・スポーツ活動充実のための公園整備や体育施設の整備などによるものです。

特別会計・企業会計

特別会計は、老人保健会計と介護保険会計、農業集落排水事業会計などの増額により、特別会計全体で前年度よりも9億3192万4千円多くなっています。

企業会計の水道事業会計では、前年度より3414万7千円の減額となっています。

平成14年度 予算特集

用語説明

財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整するために、積み立てられた積立金のこと。

臨時財政対策債

交付税を自治体に交付するために必要な財源を国が借り入れる従来の方式を改め、地方が直接借り入れる方式に切り替えられた地方債のこと。従って、国から交付されていた交付税の一部をこの臨時財政対策債をもって財源に当てることになる。

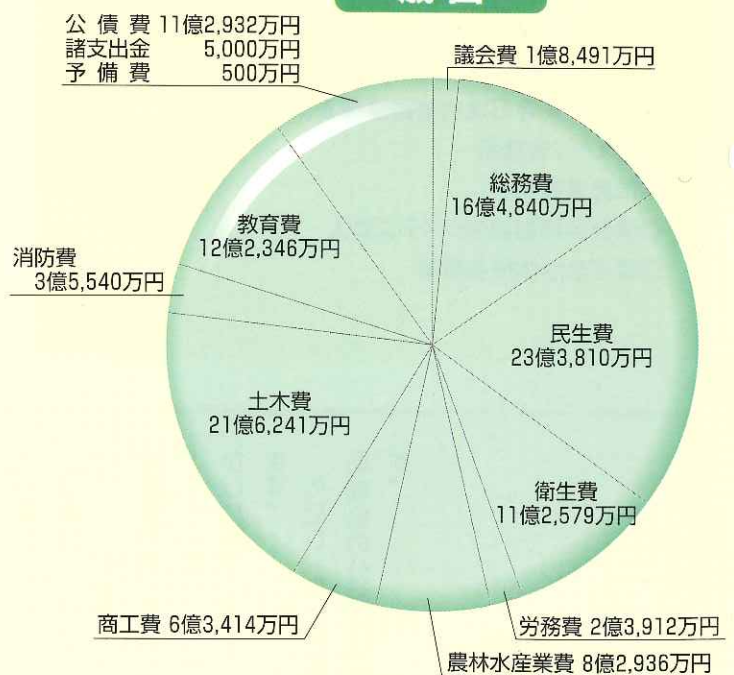
特別会計 106億296万円

区分	予算額	前年度 比増減 (%)
育英資金会計	4,399万円	-10.4
土地区画整理事業会計	1,060万円	2037.1
下水道事業会計	16億 911万円	-4.7
簡易水道事業会計	1億3,521万円	-30.4
国民健康保険会計	22億5,835万円	4.0
老人保健会計	40億7,134万円	21.9
介護保険会計	18億 826万円	7.6
温泉センター会計	1億1,193万円	-4.0
農業集落排水事業会計	4億5,039万円	38.7
市有林造成事業会計	1億 378万円	-1.7

企業会計 5億4,137万円

水道事業会計	5億4,137万円	-5.9
--------	-----------	------

歳出



一般会計 119億2,540万円

市民が参加する 21世紀の夢のあるまちづくり

ルネッサンス事業を拡大

恐竜みこしでまちに活力を

新年度に、地域の自然や文化、産業遺産などを生かしたまちづくりをすすめる「エコミ

ュージウム構想」の推進計画を策定するとともに、具体的な活動に着手します。その主要事業の一つとして、市民が主体的に取り組み『わがまちげんき発掘事業』を新設しました。

平泉寺史跡整備関連では、「第2回白山文化フォーラム」の開催と史跡の景観づくりをすすめていきます。

また、県外に住む出身者との交流により、産業や文化の新たな方向性をめざす「ふるさとルネッサンス事業」では、新たに県外で活躍するかたがたを講師として迎える（仮称）『ようこそ先輩』事業を小中学校で行うほか、市民との交流会や勝山の魅力を紹介する「ふれあいの旅」を引き続き実施します。

恐竜を生かしたまちづくりでは、全国の関係自治体との交流事業や恐竜化石発掘体験事業、そして新たに夏祭り「恐竜みこし」によるイベントを行います。

す。そのほか、イメージアップ事業の一環として、幹線道路沿いに恐竜ミニユメント（一体）も設置します。国際交流関係では、今年15周年を迎える日中友好協会の記念事業や夏と冬に開催しているアスペン音楽祭などを支援するほか、国際交流に参加する青少年の活動に助成します。

市民が参加する21世紀の夢のあるまちづくり

◎新規事業

◎わがまちげんき発掘事業	1,080万円
エコミュージウム推進計画策定事業	251万円
ふれあい市民事業	1,034万円
ふれあい交流館管理運営	1億1,988万円
(財源の内、7,000万円が利用料による歳入)	
ふるさとルネッサンス事業	522万円
◎友好都市等交流事業	135万円
(日中友好協会15周年記念事業補助金、国際交流派遣事業補助金等)	
◎恐竜王国勝山推進事業	1,085万円
(恐竜みこし、恐竜ミニユメント、恐竜サミット連絡会等)	
◎白山平泉寺旧境内史跡整備事業	699万円
アスペン音楽祭	600万円
◎市勢要覧発行	90万円
◎議会会議録検索システム導入	179万円
◎電子自治体推進事業	154万円



昨年開催されたふるさとルネッサンス事業の「ふれあい市民フォーラム」。今年も、県外で活躍されるかたがたとの交流を広げていきます。

そのほか、勝山市の概要や市政方針を紹介する『市勢要覧』の発行など、イメージアップ事業にも積極的に取り組んでいきます。



地域遺産の活用や保存、あるいは世代間交流など、魅力あるまちづくりをめざす各地区の活動を支援していきます。

助成金額は毎年100万円を限度に、市内10地区のまちづくり団体各1団体に助成します。それぞれ3カ年の到達目標を設定して、地域住民が主体的に取り組み活動が対象となります。

遺産探し、遺跡めぐりウォーキング、遺産の草刈や清掃などの整備事業、達人の技の伝承など、それぞれの地域の特色を生かした幅広い活動が対象になります。

ただし、集落や各種団体への助成金の分配は対象外とします。



わがまちげんき発掘事業

少子・長寿化に対応した 人にやさしいまちづくり

健康チャレンジ継続

温泉センターを時間延長

長年の懸案事項となっていた(仮称)健康福祉センターの建築設計費を計上。保健・健

利用券を発行し、高齢者等の外出機会を促進を図ります。さらに、市民に親しまれている温泉センター「水芭蕉」では、開館時間を夜10時まで延長するほか、源泉タンクと屋外庭園の整備により、利用環境の向上をめざします。障害者福祉関連では、障害者ふれあいサロンと精神障害者ホームヘルプサ



今年も、ウォーキングブームが続いています。自分のペースで、ゆっくりウォーキングを楽しんでください。6月から今年度のチャレンジ事業が始まります。

ービスの新設と、障害者の社会復帰施設として大野市に建設される「紫水郷」に補助金を支出します。そのほか、介護保険関連でサービス事業者振興事業を新設するなど、高齢者福祉事業の充実を図ります。

康づくり事業と福祉関連事業の総合施設として、16年度中の供用開始をめざします。また、昨年から取り組んでいる「いきいきかつちま健康チャレンジ事業」を継続するとともに、「健康の田」を制定し、健康づくり意識の高揚を図ります。

少子化対策と子育て支援事業として今年度から、国民健康保険法の規定による出産一時金が支給されるまでの間、出産に要する費用を貸し付ける制度を新設しました。また、第3子以上の出生児を対象に、第3子30万円、第4子40万円、第5子50万円を支給する育成奨励金事業を継続します。そのほか、保育園における延長保育の充実など、保育活動の支援をしていきます。

昨年より運行を始めた「地域福祉バス」事業では、市内8路線を利用する60歳以上の高齢者を対象に、一律200円(身障者100円)で乗車できる

少子・長寿化に対応した人にやさしいまちづくり

◎新規事業

◎健康福祉センター設置事業	1,920万円
◎障害者福祉サロン事業	19万円
◎障害者福祉施設整備費	1,794万円
◎精神障害者ホームヘルプサービス事業	143万円
第3子以上乳幼児育成奨励金支給事業	1,504万円
延長保育促進事業	2,910万円
地域福祉バス事業	1,594万円
家族介護支援事業	1,468万円
◎勝山市高齢者連合会事務局移転事業	308万円
◎介護サービス適正実施指導事業 (ケアプラン指導研修事業、 サービス事業者振興事業など)	39万円
いきいきかつちま健康チャレンジ事業	793万円
◎がん健診、結核検診事業	910万円
◎国民健康保険税額の値下げ (前年度当初予算額比、4,894万円の減額)	
◎出産一時金貸付金	300万円
◎温泉センター源泉タンク整備等事業	586万円



今年度設計費を計上した(仮称)健康福祉センターは、健康づくりと高齢者や障害者の生きがいづくりを推進する施設として整備していきます。

健康福祉センター建設事業

同施設には、各種保健事業のための集団検診室や保健指導室、機能訓練室などを設け、福祉関連では社会福祉協議会とホームヘルパーの事務所、高齢者団体や障害者関係団体用の部屋などを設置する予定です。また、陶芸や絵画、カラオケなど、高齢者の生きがい活動のための機能をもたせるとともに、ボランティア活動の拠点としても活用していきます。

市民と行政関係者で構成する健康福祉センター建設検討委員会をつくり、施設の規模や機能等について検討をすすめてきました。建設地については、現在、市内の遊休地等の活用を検討しています。

産業とまちのにぎわいなど
若者に魅力あるまちづくり

新規創業者支援策を充実

夏まつりをグレードアップ

商工業関連では、中小企業等を対象とした各種融資制度を継続する

ほか、今年度から新たに、積極的な企業活動を支援する「新事業創出支援関連補助事業」により、市内事業所に助成金を支出します。

さらに、新規に独立開業しようとする創業者に対して創業時の事業用スペースを提供する「インキュベート施設」を地場産業振興センター内に設置。インターネット接続機能をもつスペースを整備します。

また、商店街活性化推進事業補助金や空き店舗活用事業補助金などにより、商業活性化事業を支援していただきます。観光関連では、夏祭りの事業費を増額して内容をグレードアップするほか、長尾山のチャムコランドに観光案内コーナーを設けます。さらに、神戸市で観光物産PR事業を展開し、勝山市のイメージアップを図ります。

農業関連では、県営中山間地域総合整備事業の事業採択に向け、市全域を計画区域とした農業振興基本計画を策

定します。また、児童が農業体験をとおしてふるさと学習をする事業を支援していきます。

林業関連では、フォレストアメンテイー施設として整備してきた北郷町の岩屋キャンプ場の関連施設がすべて完成し、供用を開始します。また、今年度から国の支援を受けて、計画的かつ

一体的に森林の施策を実施するための現況調査と整備計画策定事業への支援を行います。



インキュベート施設が設置される奥越地域地場産業振興センター。新規に独立開業する事業者を支援していきます。

産業とまちのにぎわいなど若者に魅力あるまちづくり

	◎新規事業
◎農業経営管理セミナー開催事業	31万円
◎農業振興基本計画策定事業	483万円
◎農業農村多面的機能学習助成事業	50万円
畦畔整備事業	3,000万円
中山間地域等直接支払事業	7,120万円
◎地域農業担い手支援事業	900万円
◎農作物鳥獣害防止対策推進事業	32万円
◎森林整備地域活動支援事業	151万円
◎環境保全林等整備事業	390万円
◎林業地域総合整備(林道整備)事業 (岩屋キャンプ場整備事業含む)	6,037万円
◎勝山夏まつり事業	800万円
◎新事業創出支援関連補助事業	1,255万円
◎観光物産PR推進事業	100万円
◎インキュベート施設整備事業	550万円
◎IT活用人材育成事業(企業向け)	150万円

インキュベート施設=「インキュベート」は「卵を孵す^{かえ}」という意味で、新規に独立しようとする創業者に対して、創業立ち上げ時の事業用スペースを提供するための施設のこと。



定住化促進事業制度の新設

市内に永住を希望する人に対して最高100万円の助成金を支給する「勝山市定住化促進事業」を新設しました。人口の増加と若者の定住対策として、今年度新たに制度化したもので、転入(平成14年4月以降)する前に3年以上勝山市に住み登録をしていない人が家を購入または賃貸住宅に入居した場合に対象になります。また40歳以下の市民が、家を購入する場合も対象になります。

助成金の支給は「入居した翌月から1年を経過してから」となるため、予算化は平成15年度からになります。

助成制度の詳細は、折込チラシをご覧ください。



環境に配慮した 誰もが住みたくなる 安全なまちづくり

鉄道3セク設立へ出資

集落配水は拡大へ準備

存続の方針が決定した電車の早期運行再開に向け、

県と沿線市町村並びに民間で立ち上げる第3セクター会社設立のための出資金と準備金を予算計上し、市職員2名を「第3セクター設立準備室」（仮称）に派遣します。また、生活に密着したバス路線の確保のための運行補助と、市内の公共施設や病院などを巡回するコミュニティバス（1000円で乗車）の運行を継続します。

安全で快適な市民生活の確保のため、11トン級の除雪ドーザと消防ポンプ自動車をそれぞれ1台ずつ購入するほか、環境保護の観点から不法投棄監視パトロールの強化と環境美化推進事業をすすめていきます。さらに、ごみの分別・減量化・リサイクル事業推進と、市役所庁舎における「ISO14001」の認証取得手続きをすすめます。また、9月には全市的な総合防災訓練を実施します。

上下水道関連では、木根橋地区と北野津又地区の簡易水道の改良工事を行

うほか、伊知地・坂東島地区の農業集落配水事業の事業採択に向けた作業に取りかかります

一方施設関連では、弁天緑地のリフレッシュ事業を行うとともに、長尾山総合公園でノルディック用スキーや西洋かんじきなどのウインタースポーツ用具を購入して、通年型の公園利用環

境を整えます。また、荒土町新保地係の荒土公園を今年度から4年計画で整備していきます。



第3セクターの鉄道会社を立ち上げるための準備金を予算化しました。一日も早い運行再開が待たれます。

環境に配慮した誰もが住みたくなる安全なまちづくり

◎新規事業

◎市役所ISO14001認証取得（審査）事業	280万円
コミュニティバス運行事業	1,182万円
生活路線バス運行維持費	4,336万円
◎総合防災訓練実施事業	60万円
◎第3セクター鉄道会社設立運営事業	9,375万円
◎ごみ分別・減量化・リサイクル推進事業	19万円
廃棄物処理対策事業	2億7,320万円
◎不法投棄監視パトロール	94万円
◎環境美化推進事業	235万円
除雪関係費（除雪ドーザ購入含む）	6,086万円
◎弁天緑地整備費 （照明設備、公衆便所、グラウンド改修）	3,748万円
◎荒土公園整備事業	2,340万円
長尾山総合公園事業（整備・管理）	2億710万円
◎消防ポンプ自動車等購入	3,641万円
◎旧市営射撃場土壌環境保全事業	2,806万円
簡易水道改良事業（野津又、木根橋）	8,222万円
◎農業集落配水事業（西部、東部、伊知地・坂東島）	4億1,302万円



弁天緑地のリフレッシュ事業では、サッカー場を改修するとともに、照明設備と公衆トイレを設置して、各種スポーツとウォーキングに快適な環境を整えます。

弁天緑地は、サッカーやゲートボール、グラウンドゴルフのほか、昨年からは始まったウォーキングブームにより、多くの市民が利用しています。市民からは、夜のウォーキングの安全確保のための照明設備と、勝山橋下流におけるトイレの設置要望が多く寄せられていました。



弁天緑地に照明設備設置

誰もが学び心が通う
ふれあいのまちづくり

男女共同参画基本計画を策定
図書館ネットワーク化へ

新年度から本格的に、市民自ら考え行動する市民主導の計画「アクションプラン21」を策定し、推進してまいります。小中学校では、児童用・生徒用の机といすを、今年度から順次入れ替えてまいります。また、新学習指導要領の完全実施に合わせて教師用指導書を新規購入するほか、南部中学校における校内LANの整備によりコンピュータ学習環境を充実してまいります。

さらに、9月には県スポーツ少年大会10月には「ふくい健康ウォーク」を市内で開催する予定です。



県内の図書館がネットワーク化されると、市立図書館の利用者端末やインターネットでの検索と貸出し予約が可能になります。

文化財保護関連では、「史跡白山平泉寺旧境内」の公有地化と遺跡の保存修理のほか、県指定文化財の北郷町上野の木下家住宅の保存修理事業などを行っています。

今年度中に、「勝山市男女共同参画基本計画」を策定し、学習活動や研修・交流事業等をすすめ、女性の自立と社会参画を図ります。生涯学習関係では、公民館を中心に11講座など住民ニーズに合わせた学級や講座を開催していくとともに、野向公民館では公共下水道の供用開始に合わせてトイレの全面改修を行います。さらに、図書館の利用者サービスの向上を図るため、新県立図書館等とのネットワーク化により、ホームページ上で県内の各公共図書館の蔵書検索と貸出・予約業務がで

誰もが学び心が通うふれあいのまちづくり

	◎新規事業
◎男女共同参画基本計画策定事業	208万円
◎教育指導費 (心の相談員・さわやか教室支援員配置、 教育研究大会助成)	1,026万円
総合的な学習の時間事業	344万円
◎児童・生徒用机いす更新	1,259万円
◎新学習指導要領教師用指導図書購入	1,330万円
◎特殊学級教材備品整備事業	50万円
◎教育用コンピュータ整備事業	1,380万円
生涯学習振興事業・同学級事業	354万円
IT講習推進事業	409万円
◎公民館営繕工事	1,306万円
地区公民館施設整備事業	750万円
◎文化財保存修理事業(木下家住宅保存等)	1,400万円
史跡公有地化等事業	6,774万円
◎図書館総合目録システム導入事業	2,882万円
スポーツライフ事業	307万円
◎市営体育館管理運営(リニューアル事業含む)	3,321万円
県スポーツ少年大会	230万円
◎ふくい健康ウォーク事業	34万円



市教育委員会では、次代を担う子どもたちを育てるために、私たち一人ひとりが教育に関心をもち具体的に行動する計画「アクションプラン21」の策定作業をすすめています。

アクションプラン21

今年度は、教育シンポジウムを開催するとともに、家庭や地域における行動目標計画と学校における行動目標計画を作成し、各地区や学校の行動計画をまとめて実践活動を推進してまいります。

「アクションプラン21」は市民自ら考え行動する、市民主導の事業です。子どもたちの教育について、そして子育てについて、自分に、家族に、学校に、社会に問いかけてみる機会を広げましょう。

教育シンポジウム

「勝山の子どもたちを生かそう 正そう!」

とき 5月25日(土)
午後1時30分~5時

ところ 教育福祉会館ホール

対象 一般市民

勝山市は、IT（情報通信技術）の急速な進展に対応するために、市民生活を支える情報通信基盤整備をめざした「勝山市情報スーパーハイウェイ基本計画」を策定しました。この内容の基本に新年度において、市内の公共施設間をADSLや光ファイバーの高速・大容量通信網のネットワークで結ぶ地域インターネットを構築します。

同事業は平成13年度の国の第2次補正で認められ、総務省の補助を受けて行われます。勝山市の平成13年度の3月補正予算に計上され、繰越明許費として14年度中に工事がすすめられます。

同事業で敷設する光ファイバーは、民間事業者が採算面で整備が難しい地域を重点的に整備します。市内小・中

情報スーパーハイウェイ 整備事業を開始

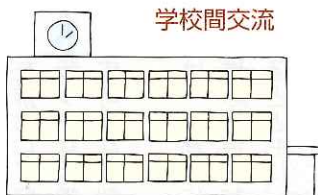
IT化に向け情報化計画を策定

学校にはテレビ会議端末を整備して、学校間交流事業やモデル指定による複式学級の遠隔授業に取り組みます。また、市民の情報活用能力向上を図るために、タッチパネル式公開端末をいくつかの施設に設置します。

今後、医療、福祉、産業、観光、防災の各分野で高速情報通信基盤を活用するためのコンテンツ作りに取り組み、国の総合行政ネットワークや福井県の情報スーパーハイウェイと連結し、電子申請や施設予約、図書検索等の各種システムを構築し、IT時代にふさわしい行政サービスの提供を図ります。

地域情報化に関するお問い合わせは、総務課行政情報G（☎内線238番）まで。

勝山市情報スーパーハイウェイ整備事業

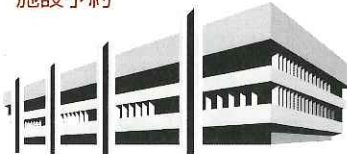


学校間交流

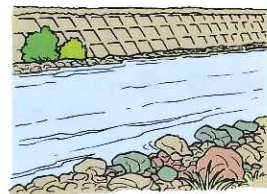
インターネットを利用した総合的学習

遠隔授業

施設予約

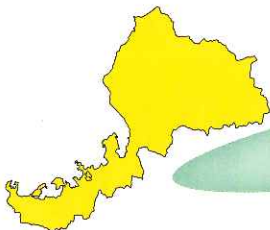


電子申請行政相談

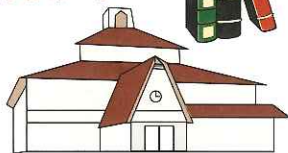


河川監視

市民やCATV事業者への開放(将来構想)



福井県情報スーパーハイウェイや福井県ギガビットバックボーン

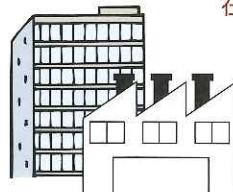


蔵書検索や予約、図書購入要望受付

勝山電子ミュージアム
電子出版



テレワーク



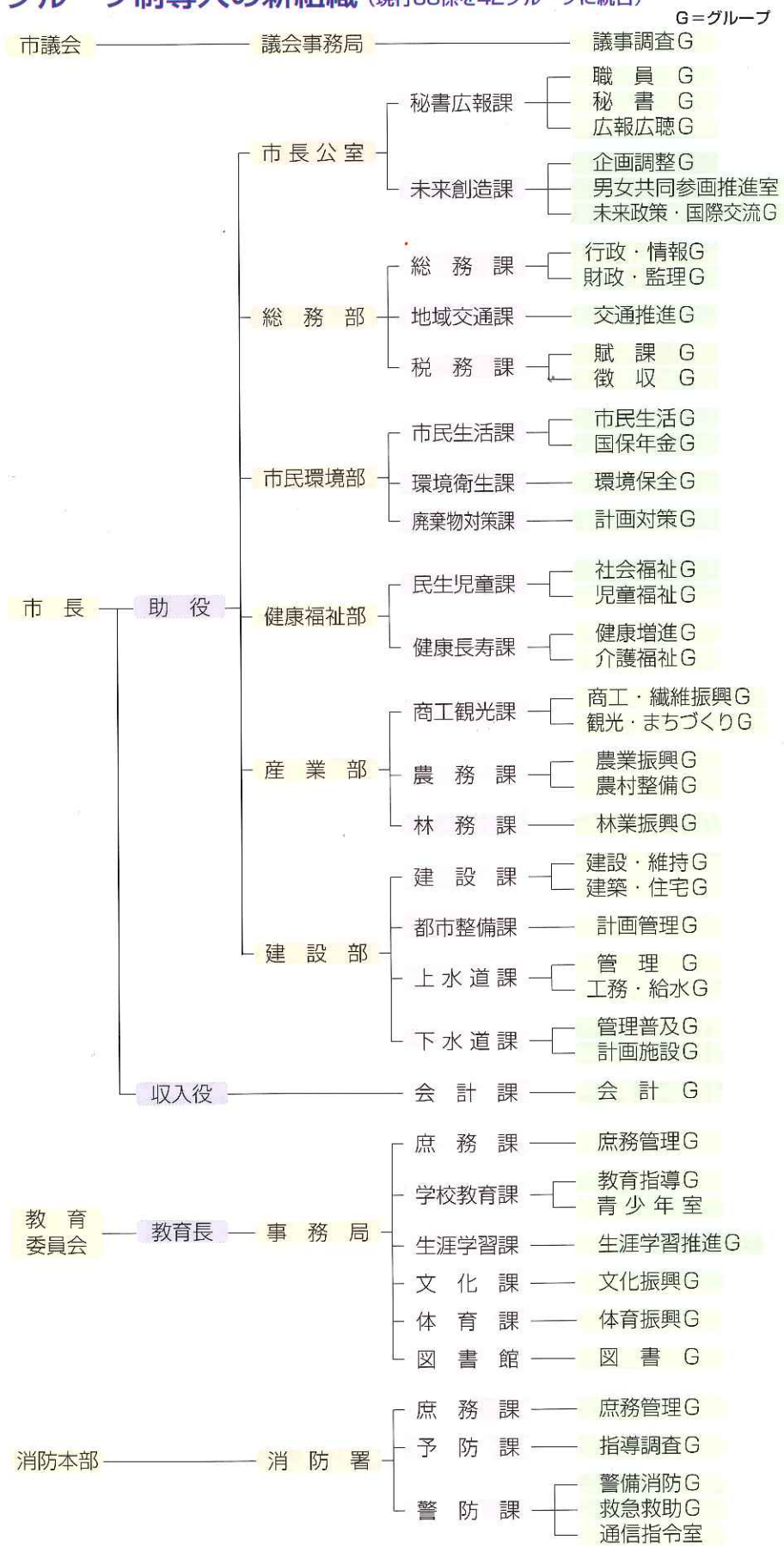
企業誘致



病院

在宅ケア 遠隔診断

グループ制導入の新組織 (現行68係を42グループに統合)



- 農業委員会
- 監査委員
- 選挙管理委員会
- 公平委員会
- 固定資産評価審査委員会

機構改革

効率的な体制整備へ

グループ制を導入

市役所

勝山市は、4月1日付の人事異動に合わせて、グループ制の導入を中心とする機構改革を行いました。今回の機構改革では、主要施策の推進と組織の

活性化を図るため、これまでの係制(68係)を廃止してグループ制(42グループ)を導入しました。グループ制の導入により、時期的な

部の編成では、総務部に地域交通課を設置し、地域の総合的な交通体系の整備を推進するとともに、第3セクタ

― 鉄道会社の早期設立に向け、新鉄道

業務内容や量に合わせた弾力的なグループ編成を可能にするともに、縦割り組織の弊害を排除し、自由に意見交換ができるフラットな組織の醸成と住民ニーズに即応可能な体制づくりをめざします。

部は、総務部に地域交通課を設置し、地域の総合的な交通体系の整備を推進するとともに、第3セクタ

公民館に女性職員を新たに配置することにより、男女共同参画による市政とまちづくりを推進していきます。

市町村合併を 考える

地方分権が実行段階を迎えた今、市町村合併の議論は避けておれない課題です。国では新たな合併支援策を示し、市町村の自主的な合併を求めています。

市では合併に関する情報を市民のみなさんに提供し、今後の私たちのまちのあり方を行政と市民が一体となって考えていきたいと思います。

このたび、奥越地域市町村合併共同研究会の報告書がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

今後の予定

今回、2市1村の基礎資料づくりができましたので、今後さらに上志比村を含めた吉田郡との研究を実施していく予定です。あわせて市民のみなさんに市民対話集会や市広報などを通じて広く情報提供をして合併の議論を深め、本年度中を目的に合併にかかる方向性を見出ししていきます。今回の報告書の詳細は市のホームページや各公民館でご覧ください。合併に関するご意見やお問い合わせは、市長公室未来創造課（☎内線2331番）まで。

奥越地域市町村合併共同研究会の報告

研究会は、大野市・勝山市・和泉村の関係部課長10人で構成し、「福井県市町村合併要綱」に示されている合併パターンについて調査研究をまとめました。研究会は昨年11月から奥越2市1村の現状を踏まえ、合併による効果・問題点などを客観的に検証しました。ただし今回の報告では奥越2市1村による合併の是非にはふれていません。報告書の概要は次のとおりです。

1 奥越地域は、全国や福井県の平均を大きく上回る速さで高齢化が進展しています。

平成12年国勢調査 老年人口の割合 (高齢化率)	
全 国	17.3%
福 井 県	20.4%
奥越地域	24.8%
(大野市 24.2%)	
(勝山市 25.6%)	
(和泉村 30.1%)	

2 生活圏としては、奥越地域と福井市とでほぼカバーされています。

・通勤圏 (平成7年国勢調査)	
奥越地域	85.9%
福井市	10.6%
合計	96.5%
・通学圏 (平成7年国勢調査)	
奥越地域	79.6%
福井市	13.7%
合計	93.3%
(平成11年度国民健康保険の通院のレセプト件数)	
・医療圏	
奥越地域	69.5%
福井市	15.9%
合計	85.4%

3 工業や商業においては、事業所の集約化・大型化が進んでいます。

製造業事業所	
昭和53年	951所
平成10年	669所
	282所減
製造品出荷額等	
昭和53年	871億円
平成10年	1,276億円
	405億円増
小売店舗数	
昭和60年	1,489店
平成9年	1,211店
	278店減

4 上水道の加入率や公共下水道の進捗に個別の事情を抱えています。

上水道普及率 (簡易水道含む)	
大野市	35.0%
勝山市	93.6%
和泉村	98.2%

※大野市の場合、市街地の大部分が地下水を生活用水としています。
※公共下水道については、勝山市が19,837人の排水人口、6,600万3,000㎡の区域面積で供用しているが、大野市は、平成15年4月の供用をめざしています。

6 一般に言われている合併による効果、問題点については、広大な行政区域面積を抱える奥越地域にとっては、すべてにおいて当てはまるとは限りません。

●効率的な行政運営は期待できると言われていますが、広大な面積を抱えるため、市村道、林道等の維持管理については問題があります。

●公共施設が幅広く使用できるといふ効果が言われていますが、面積が広いこと、独立した地勢をなしていること、公共交通機関の利便性を考えると、弾力性に乏しく、特に勝山市と和泉村においては、多くは期待できません。

●新しいまちづくりの展開が期待できると言われていますが、2市1村それぞれ異なった基本理念のもとに施策を展開してきたことから、実現までには時間がかかることが予想されます。

●伝統文化事業の継承について問題とされていますが、地域に根付いたものであれば、影響は少ない。

●役場が遠くなり不便になることについては、行政区域面積が広大であったとしても、従前の役場が支所機能をもつことや情報技術を活用すれば、直接住民に不便を与えることは少ない。

3月定例会市議会

3月定例会市議会が3月1日から25日までの日程で開催されました。山岸市長は招集のあいさつの中で新年度の予算編成方針について、「きわめて厳しい財政状況ではあるが、市政1年目に把握した課題への取り組みとめざす方向を明確化すべく、『ふるさとルネッサンス事業』を基軸としたエコミュージアム構想によるまちづくりを予算に反映させることを基本とした」と述べました。

3月6日と7日には一般質問が行われ、平成14年度予算など議案55件を可決しました。この中で、国民健康保険税率の値下げ、体育施設と教育福祉会館の使用料の改正、並びに勝山温泉センター「水芭蕉」の時間延長に関する条例の改正が決定しました。

決まった主な内容は次のとおりです。



招集のあいさつをする山岸市長

決まった内容

予算

平成14年度一般会計予算を119億2540万4千円、特別会計を総額106億296万1千円、企業会計の水道事業会計を5億4137万円としました。(予算特集に詳細掲載)

また、平成13年度補正予算も可決。

一般会計は6億6209万1千円減額し130億4825万5千円としました。特別会計は1665万1千円減額し104億729万1千円に、水道事業会計は1525万2千円減額し5億7264万円としました。

また、継続審議となっていた平成12年度勝山市歳入歳出決算が認定されました。

条例改正等

- 国際交流基金等の一部改正「ペイオフ導入に伴い、基金の適正な運用を推進するため」
- 公益法人等への勝山市職員の派遣等に関する条例の制定「公益法人等への

一般職員の地方公務員の派遣等に関する法律の施行に伴う」

- 勝山市職員の再任用に関する条例の制定「地方公務員法の一部改正で、職員再任用制度が規定されたことによる」
- 体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正「使用区分と使用時間帯の変更、使用時間の延長、使用料金の値下げ」

● 勝山市税条例の一部改正「国民健康保険税率の改正(値下げ)」

- 児童センターの設置及び管理に関する条例の一部改正「学校5日制導入による土曜日の開所時間の変更」
- 教育福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正「使用料の改正(値

下げ)」

- 勝山温泉センター「水芭蕉」の設置及び管理に関する条例の一部改正「夜間使用時間の延長」
- 林業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正「使用料金の改正」

● 勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正「付属機関の委員等の議会議員である委員について、報酬を支給しないようにするため」

任命(同意)

教育委員

佐野瑞円(63) 鹿谷町矢戸口

平成14年度

「京福電車と地球を愛する会」

会員募集

現在、第3セクター鉄道会社による運転再開のために準備を行っています。再開は早くても平成15年1月ごろと思われますが、その間の使用者離れを少しでも防ぐために、『京福電車と地球を愛する会』に入会いただき、市民の手で電車を守るための運動にご協力をお願いします。

会費 2,000円 (1人1口限り)

特典 1日フリー切符2枚添付

(利用期間=平成14年4月1日～10月20日)

問合先 勝山市総務部地域交通課

(☎内線271番) または各公民館へ。